

6月のおすすめ花まる本

新着図書は
1日・16日に並びます。

一般書

『マダーハウス』 いがらし 五十嵐 貴久 著

豪華な外見、充実した設備、格安の家賃、同居するのは美しい美男美女ばかり…。ネットで見つけたシェアハウスで楽しい日々を送っていた理佐だが、同居人が立て続けに死亡し…。『Webジェイ・ノベル』掲載を加筆し単行本化。



児童書

『くもとそらのえほん』 いがらし 五十嵐 美和子 作・絵

今日も地球のそらのうえで、ふわふわと浮かんでいるくも。光によっていろいろな色になったり、風の流れて形を変えたりしています。今日のそらのくもは、どんなくもでしょう。ながめてみましょう。

たけだ やすお 武田 康男 監修



『姑の遺品整理は、迷惑です』 かきや みう 垣谷 美雨 著

独り暮らしの姑が亡くなった。嫁である望登子はなんとか自分で遺品整理をしようとするが、あまりの物の多さに立ちすくむばかりで…。誰もが直面する問題をユーモラスに描いた長編小説。『小説推理』掲載を改題、加筆修正。



『かがやけ！虹の架け橋』 うるしはら ともよし 漆原 智良 著

東日本大震災で、わが子3人を失った夫妻。生きる望みを失いかけたふたりを支えたのは、木工玩具「虹の架け橋」の製作だった…。悲しみに直面しながら生きていく姿を描くノンフィクション。



『心底惚れた』 きき きりん 樹木 希林 著

渥美清、五代目小村勘九郎、萩本欣一、つかこうへい、田淵幸一、山城新伍、米倉斉加年…。33歳の樹木希林（悠木千帆）が、12に人の多彩なゲストと男と女についての深い話を繰り広げた『婦人公論』掲載対談を書籍化。



日経新聞はじめました

かねてよりご要望の多かった、
日本経済新聞の購読をはじめました！
充実した経済情報をお楽しみください。

6月のおはなしの会

絵本、紙しばいなどの読み聞かせをしています。

日時 毎週日曜日
あさ10時～

場所 中央公民館 2階

～みんなで遊びにきてね！～



BOOKリサイクル

古雑誌・古本（一般書・児童書）
など約3,000冊。
1人10冊まで無料でさしあげます。

日時 6月23日（日）
午後1時30分から
3時30分

場所 中央公民館
3階大会議室

おりがみ教室

日時 7月6日（土）
午後2時から

場所 中央公民館 2階

定員 定員20名

対象 3歳～
小学3年生まで

